

第 5 次茨城県廃棄物処理計画の進捗状況

1 計画の目標とすべき指標の推移

(1) ごみの排出量・最終処分量

指標名	単位	計 画 策定時	計画中実績		目 標
		2018 (H30)	2021 (R3)	2022 (R4)	2025 (R7)
ごみ排出量	千 t	1,060	1,005	997	980
ごみ最終処分量	千 t	84	67	61	80 以下

※環境省が毎年実施する一般廃棄物処理実態調査結果による（R5 は集計中）

(2) 産業廃棄物の排出量・最終処分量

指標名	単位	推移				目 標
		2008 (H20)	2013 (H25)	2018 (H30) 計画策定時	2023 (R5) 速報値	2025 (R7)
産業廃棄物排出量	千 t	10,838	10,151	11,547	11,422	11,000
産業廃棄物最終処分量	千 t	185	137	145	151	136 以下

※茨城県が 5 年毎に実施する茨城県産業廃棄物実態調査結果による（R5 は速報値）

※上表の数値については、特殊要因となる石炭火力発電所のばいじん等の廃棄物量を含まない。

(3) 不法投棄の発生件数

指標名	単位	計画策定時	計画中実績			目 標
		2019 (R1)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2025 (R7)
不法投棄の発生件数	件	120	171	87	105	80 以下

2 計画の目標とすべき指標の概況

(1) ごみの排出量・最終処分量

- ・排出量は、人口減少などの要因により減少傾向であり、直近の減少率（R4 の対 H30 減少率）を踏まえると、R7 年度までに計画目標の水準に達する見込み。
- ・最終処分量は、排出量の減少に比例していることに加え、水戸市において排出される焼却灰の多くを最終処分から再資源化処理へ変更したことなどから最終処分量が減少しており、現時点で計画目標を達成。

(2) 産業廃棄物の排出量・最終処分量（速報値であり、詳細については分析中）

- ・排出量は、前回調査より減少しているが、計画目標の水準に達していない状況。
- ・最終処分量は、前回より増加しており、計画目標の水準に達していない状況。

(3) 不法投棄の発生件数

- ・ゲリラ的不法投棄が増加したことにより、令和 3 年度は増加したが、各種施策の実施により令和 4～5 年度は計画目標に近い水準で推移している状況。

2 計画に基づく主な施策の実施状況

(1) 3Rの推進

施策内容	取組状況（実績値は R5 年度）
①県民等の問題意識の向上、3R行動の促進	
「ポスター・標語コンテスト」の実施 ・小中高生対象	応募数 ポスター：415 点 標語：333 点
廃プラスチックの排出抑制 ・レジ袋有料化によるエコバック等持参の啓発等	イオンリテール(株)と連携し、茨城県限定マイバスケット販売（1,000 個）
食品ロス削減対策 ・いばらき食べきり協力店の登録 ・てまえどりの啓発	登録店舗数：140 店舗 ポスター配布：900 部 ポップ配布：30,400 部
エコショップの登録 ・スーパーマーケット等小売店における店頭回収、マイバック、リサイクル品の推奨等	登録店舗数：405 店舗
②市町村における減量化、再資源化の取組の促進	
ごみ処理施設整備等に係る助言等 ・市町村ごみ処理施設整備に係る国の交付金等に関する助言等	交付金活用数：8 団体（12 施設）
ごみ処理広域化計画の策定 ・安定的かつ効率的な処理体制の構築	・R4.3 月：計画策定 ・現在計画に基づき 1 ブロックにおいて、広域化を検討
集団回収優良団体の表彰 ・地域での資源循環の取組の活発化	受賞：6 団体
資源循環分別の促進 ・ペットボトルリサイクルの推進 ・循環資源の分別について課題を把握し、助言や情報提供	・R3.7 月：ペットボトル水平リサイクルの推進に向けサントリーと連携協定締結 ⇒市町村へ働きかけ、各飲料メーカーと県内 18 市町村が協定を締結
③排出事業者による 3R の促進	
多量排出事業者の減量化計画の策定 ・多量排出事業者（年間 1,000 t 以上、特別管理産業廃棄物は 50 t 以上）による産業廃棄物処理計画の公表等	・計画：486 件 ・多量排出事業者に立入し、減量化・産業廃棄物の適正な処理等を指導。

(2) 廃棄物適正処理の推進

施策内容	取組状況(実績値は R5 年度)
①不法投棄対策の強化	
フリーダイヤル「不法投棄 110 番」の設置	110 番通報件数：31 件
スマートフォンアプリの導入	アプリ通報件数：160 件
Web カメラ設置による常時監視	設置現場数：10 現場
民間警備会社へのパトロール委託	委託実施日数：120 日
ドローンによる上空からの監視及び廃棄物の自動計測	飛行回数：101 回
②排出事業者責任の徹底	
電子マニフェスト制度の普及	毎年度電子マニフェストについての講習会を実施
県内搬入事前協議制度	協議件数：582 件
PCB 廃棄物適正処理指導員による保管業者へ巡回指導	指導件数：1,759 件
アスベスト適正処理指導員による立入指導	建築解体現場：441 件 破砕処理施設：157 件
③資源循環産業における適正処理の徹底、地域との調和の推進	
エコフロンティアかさまにおけるモデル的な廃棄物処理事業	環境学習施設見学者数：271 名
県独自の事前審査制度に基づいて、地域との調和が図られた施設の設置を推進	廃棄物処理施設設置等許可：14 件 使用済自動車解体業許可：18 件
廃棄物処理施設への立入検査	立入検査件数：53 件
④一般廃棄物の適正処理の確保	
「有害使用済機器保管等業者指導監督指針」に基づき、不適正な保管等の違反事案等に対応	立入検査件数：76 件
海岸漂着物対策として、市町村の取組を促進	交付実績：5 市町村

(3) 循環型社会形成に向けた基盤づくり

施策内容	取組状況（実績値は R5 年度）
①産業廃棄物最終処分場の確保	
県内の産業廃棄物最終処分場の安定的な確保	R5：実施設計の実施、建設工事請負契約の締結 ※(一財)茨城県環境保全事業団が実施
②災害廃棄物処理体制の強化	
災害廃棄物処理計画の策定	策定市町村数：41 市町村（←R2：34 市町村）
関係者間の連携強化や研修機会の創出による県内災害廃棄物処理体制の強化	市町村対象の研修会開催
③資源循環産業の育成	
「優良産業廃棄物処理業者認定制度」による廃棄物処理業界の地位向上等	認定件数：116 件（←R2：65 件）
廃プラスチック処理を行うとする事業者へ設置許可等を通じ、適正処理を確保	許可件数：6 件
④分野別産業廃棄物処理対策の推進	
自動車リサイクル法に基づく業者への立入検査により適正処理の確保	解体業立入検査数：152 件 破砕業立入検査数：17 件
事業系フードロスの削減	「いばらきフードロス削減プロジェクト」（R3.7 月立上げ）による事業系フードロス削減量：66t 干しいも残渣の飼料化等に取り組む事業者の機械導入経費を補助：2 件

3 第6次茨城県廃棄物処理計画に向けた取り組むべき事項

次期計画においては、引き続き、3R及び適正処理を推進するとともに、各種課題（海洋プラスチックごみ問題、資源の有効利用、産業廃棄物最終処分場の安定的確保、屋外の再生資源物の適正保管など）への対応として、以下の事項について取り組んでいく。

- ごみ処理主体である市町村との連携により、ごみの発生抑制や再生利用の更なる促進
 - ・ プラスチック廃棄物の資源循環促進
 - ・ 食品ロス削減の推進
- 新産業廃棄物最終処分場の計画的な整備
- 茨城県再生資源物の屋外保管の適正化に関する条例（ヤード条例）に伴う適正保管の推進